

な気分だ。總てのものが幸福で元氣だ。笑ひ度くてたまらない。的  
 の顔が輝いて居る。體格検査は嚴重、特に喉や鼻等は注意された。  
 私達三十人許りで學校はひっそりして居た。樂園に歸つたのは三時  
 頃。發表の日まで、數日來の勞れを休み様思ひ切り遊び廻り度い。  
 七日 朝になるのを待ち兼ねて發表を見に行く。有つた! 今日  
 は、判然と姓名が書かれてある。もう他の物は何も要らないと思ふ  
 程嬉しかつたのは言を俟たない。雨に櫻花が散る。此處が私の住み  
 家になるのだ。夜八時楽しい愉快な勇ましい『數年來の收獲』をも  
 つて故郷に向ふ。あの時は、かく反對した親達も喜んで呉れるに違  
 ひない事を信じて……。東京驛頭、赫々と照る電燈も、私には今宵  
 は永遠の希望を語る様にも、私の第二の生活の門出を祝つて呉れる  
 様にも感じられた。

『月刊樂譜』第十四卷第一号 大正十四年一月 九〜二頁

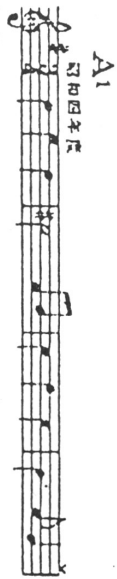
### 三 昭 和

#### (一) 入試問題

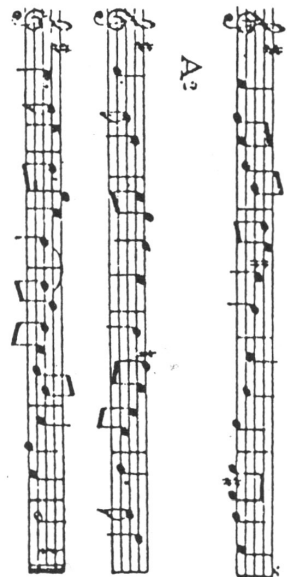
東京音樂學校入學試驗問題

昭和四年度

聽 音



#### 新 曲



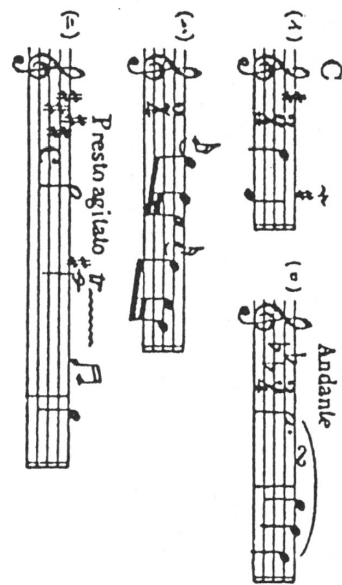
樂 典

(1) 和聲的短音階とは何ぞや、

(2) 一點ト音(G)の上に、總音程表

(半音階的音程を含む)を作り且つ其の各音程に名稱を附記し更に其の中より協和音程を抽出分類せよ。

(3) 次に列擧せる裝飾音の奏法を問ふ



### 國語

(1) 次ノ全文ヲワカリ易イ國語體ニ書キ改メ和歌ハ別ニヌキ出シテ、コマカニ説明ヲナサイ。

櫻の綻び出でたるこそえならぬ眺なれ。これ我が日の本の第一の  
見ものなれば此の頃のこと花は皆けをされぬ。されど日比待たせ  
待たせてやうやく咲けるが、あくまで見る程もなく。疾く散るは  
うらめし。

よしさらば散るまでは見じ山櫻

花の盛りを面影にして

と古の人のよみけんも、後の思出にせんとにや情けふかし。

(2) 次ノ文章中線ノ施シテアル語句ヲヌキ出シテ之ヲ解釋ナサイ。

悲しきかな、浮薄風をなし、世道年と共に廢り、人心日々に荒め  
り。功利の念に驅らるゝ者、感傷脆弱の徒、一に何ぞかくの如く

多きぞ。醇厚なる我が固有の美風は、當に地を拂はんとす。

(3) 書取(朗讀ヲ聽イテ別紙ニ書ク事)

日本の氣候は溫和である。山川は秀麗である。かういふ國土の住  
民が現生活に執着するのは自然である。我等の前に横たはる四季の  
風光は、すべて皆笑つてゐる。どうして住民が笑はずに居られや  
う。現世を愛し人世を楽しむ國民が、山川を愛し自然に懐れるのは  
當然である。

### 英文和譯

(1) Venice is one of the most beautiful of Italian cities. It  
is built on a hundred or more small islands that lie out in  
the sea. On these islands are built hundreds of splendid pal-  
aces and churches, with side streets of water rippling  
between. Instead of walking or driving through the streets,  
the people of Venice sail over the water in graceful boat  
called gondolas.

(2) The love of the country in which we were born, is one  
of the affections of our nature. It is felt by the natives of  
almost every land, however rule they may be, or however  
worthless the country may appear to other people.

### 和文英譯

(1) 此の夏は海岸で二三週間過ごしたいと思ひます。

(2) 車がなかつたので私共は停車場まで歩かなければなりません

でした。

〔音楽世界〕第二卷第二号 昭和五年二月 一八〜一九頁

〔横組〕

昭和十年度東京音楽學校入學試験問題

豫科聲樂部入學試験

唱 樂 昭和十年三月

2. コーラス・ソング No. 75.0

唱 樂

豫科唱歌乙試験

昭和十年三月

豫科唱歌乙聽音試験

2. コーラス・ソング No. 48. B

甲種師範科入學試験

第一回 唱歌

昭和十年三月

A.



B. コーラル・ソング 31. A

A. 第二回 唱歌



B 『ふるさと』

練習



豫科特別入學

樂典

- (1) 次ノ調 (Keys) ノ調號 (Key signatures) ノ記号。
- (a) 短調 (f-minor) (b) 長調 (A-major)
- (c) 變口長調 (Bb-major)
- (2) 次ノ音程 (Intervals) ノ名ヲ答ヘヨ。



(3) 次の樂語 (musical terms) ノ意味ヲ記セ。

(a) Andante, (b) poco a poco cresc., (c) espressivo.

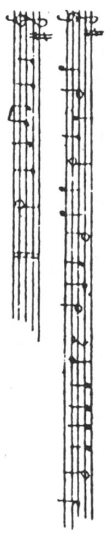
(4) 次の調ノ音階 (scales) ヲ記セ。

ト短調和聲的音階 (g-minor harmonic scale)

ロ長調音階 (B-major scale)

變イ長調音階 (A<sup>b</sup>-major scale)

(5) 次の旋律 (Melody) ノ拍子 (Time) ヲ記セ。

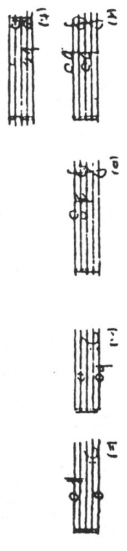


豫科・師範科

樂典

(一) ト短調より長三度高き短調の調名・調號及び和聲的音階を記せ。

(二) 次の音程の名稱を問ふ。



(三) イ短調音階 (和聲的) の各音の上に三和音を作り、且つその

三和音の種類を記せ。

(四) 次の樂語の意味を答へよ。

(イ) 下屬音 (ロ) 重變 (ハ) 八分の六拍子 (ニ) 半音階的半音 (ホ) 六の和音

(五) 次の假名書きの標語を原語の綴りにて記せ。

(イ)ラルゲット (ロ)アレグレット (ハ)ドルチェ

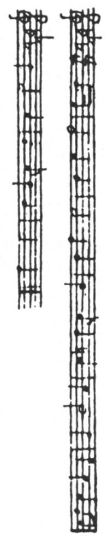
(ニ)リテヌート (ホ)コンプリオ

以上

豫科作曲部

音樂理論 (第一回)

(一) 次の Soprano 定旋律を用ひて四聲體に作れ。



(二) 次の Baso 定旋律を用ひて四聲體に作れ。

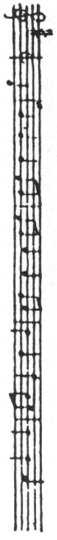


以上

豫科作曲部

音樂理論 (第二回)

次の Thema を用ひて小三部分形式 (約 24 小節) のピアノ樂曲を作れ。



豫 科

國 語

一、次の文章中——を施した箇處を抽出して解釋せよ。

1 眼光紙背に徹すといふは、何人にも望まれぬことながら、味讀と精讀とは誰にてもなし得べし。而して日常耳目にする語句は、動もすれば其の意味を取違へて、いつまでも氣づかざることあり。かの國歌のさざれいしのいはほとなりての如きも、全く別意に解するもの世にままあり。

二、次の和歌を説明せよ。

- 1、櫻咲く遠山鳥のしだり尾のながながし日もあかぬ色かな。
- 2、子らは皆いくさのにはに出づはてて翁やひとり山田もさむむ。

三、次の文章の□の處に語句を補へ。

- 1、先聖既に然り。□後生に於てをち。
- 2、雨こそは降□風は吹き、日も暮れてしまつて、□の見分  
けがつかない。 以上

甲種師範科

國 語

一、次の歌を解釋せよ。

- 1、黄金も玉も何にせん、まされる實はめぐし子ぎ。  
聞にあらねど親心、子を思ふ道には迷ふなり。
- 2、あさ戸やる人のことばに知られけり昨日にまさる花のさかり

は。

二、左の文章を口語文に書き改めよ。

梓弓はる立ちしより年の暮れ行くまで、射るが如くにおもほゆれど、時日の過ぎ行くはとどめあへず。うへもとしと名づけ、又時とはいへるならん。されば光陰箭の如く、時節流るゝが如しといへるも、うけることにあらず。

三、次の文章に誤があるなら正し、又□の處には文字を補へ。

飛行器の發明は距離を□せしめたといふべきでしょう。滿洲の上海と東京との間を□七時間ぐらいで飛ぶるのですもの。

豫 科 英 語

A Test for the Preparative Course.

Translate into Japanese: —

- 1. Nine men out of ten would have passed the building without a glance; but the tenth at least would probably know it, for the place was famous for the old curious objects of art through the world.
- 2. I say every man is to be a student, thinker. But this does not mean that he is to shut himself within the room, and study books.
- 3. Curiosity and timidity fought a long battle in his heart; sometimes he was all virtue, sometimes all passion and daring.

下の意味を英文に綴れ。

- (1) 昨日夕方雪が降り出して今朝まで續きました。
- (2) 音楽を學ぶ者にも運動(體育)が必要です。

「健全なる精神は健全なる肉體に宿る」と申しますから。

(“Sound mind in sound body”)

#### 甲種師範科

Translate into Japanese:—

1. It was nearly the time of full moon, and on this account, though the sky was covered with a uniform sheet of black cloud, ordinary objects out of doors were visible.
2. The great use of a school education is not so much to teach you things as to teach you the art of learning; so that you may apply that art in after life or yourselves, on any matter to which you choose to turn your mind.
3. Tennis played with soft balls is a game unknown in England, and would be considered only fit for children, though probably it is a most excellent introduction to the art of playing real tennis.

下の意味を英文に綴れ。

- (1) 甲「春と秋と何れがお好きですか。」  
乙「「じやうらいとも二つへませんが、まあ、秋です。」
- 甲「「なむ。」

乙「なぜと仰せらるると一寸返事に困ります。」

- (2) 讀む事は人に知識を與へ、考へる事は人をして賢明ならしむ。

#### 豫科 佛語

佛文和譯

1. Avec une gloire immense, Beethoven est une vie douloureuse: à vingt-six ans il avait commencé de devenir sourd; il l'était complètement à trente ans.
2. Le jour est le temps de la société et du travail: la nuit, enveloppant de ses ombres la terre, finit toutes les fatigues et adoucit toutes les peines; elle répand le silence et le sommeil.
3. Dans toutes les classes, en France, on sent le besoin de causer: la parole n'est pas seulement, comme ailleurs, un moyen de se communiquer ses idées et ses sentiments, mais c'est un instrument dont on aime à jouer et qui ranime les esprits comme la musique.

和文佛譯

1. 昨日夕方雪が降り出して今朝まで續きました。
2. 音楽を學ぶ者にも運動が必要です。毎日きまつて運動をしなさい。

〔横組〕

〔「同聲會報」第二二三号 昭和十年四月 三二一―三五頁〕

昭和十五年度本校入學試験問題

甲種師範科(國語)

一、夏は夜月のころはさらなりと清少納言のいひけるさることぞかし晝はあつきのたへがたくてと暮れなむとおもひつゝからうじてゆふべになればゆあみて日ひと日あせに濡れたるをばぬぎておなじ衣も今すこしかるらかなるに着換へなどすればさながら身をかへたるやうにこよなくぞすゞしかりけるくれはてゝ夕やみのほどはしばしものむつかしげなれどそれもやり水のほとりに篝火たかせなどすればをかしき程なるひかりに木の葉の色のあをやかにさらさらと見えたるいとすゞしげなり月出でてはまたさらにはむ方なし端居してながむるに秋よりもまさりてあかずこそあれさる折しも蚊といふ蟲のなのりしつゝ來るぞにくきされどいみじうすゞしき夜はさるものもまれまれにていとふばかりにはあらずかし

右ノ文ノ傍線ヲホドコシタ部分ヲ解釋セヨ(但シ番號ヲ誤ラヌヤウ注意セヨ)

二、烟たつ民のかまどのにぎはふと聞くをわが世のたのしみにしてイ、右ハ櫻町天皇ノ御製デアアル。如何ナル故事ヲ思ヒ起サレツツ御詠ミニナツテ居ルト想フカ。

ロ、解釋セヨ。

豫科・邦樂科(國語)

一、曉いとよきものなりかう世ばなれたる里ながら晝のほどはとかくまざるゝ事もあり宵の程はひと日のつかれとり集めてねぶたきを丑みつなどいふ程より起きいでてふみにむかひたるよもにはい

さゝかの物音もなくていと心すむわざなり冬はひまもる風のいと寒きに埋み火かきおこす程遠山寺の鐘の音たゞこゝもとに聞えなざるゝもいとゞうき世遠き心地ぞする春はこさめそぼそぼと降りて絶え絶えなる玉水のかしはの枯葉にかゝる音する夏は蚊こそうるさけれどまきの板戸もさゝで置きたるに二十よ日の月窓ふかくさし入りたる秋はかりがねきりぎりすいとあはれにてわれもともに泣きあかさんとす

イ、右ノ文ハ何ニツイテ記シテアルカソノ要點ヲ簡潔ニ記セ。

ロ、右ノ文ノ作者ハ、少年、青年、壯年、老境ニ入りシ者ノ中デ

ソノ何レニ當ルト思フカ。

ハ、傍線ヲホドコシタ部分ヲ解釋セヨ、(但シ番號ヲ誤ラヌヤウ注意セヨ)

二、イ、日本ノ國歌ヲ全部平假字デ一句ゴトニ行ヲ改メテ記セ。

ロ、日本ノ國歌ハ日本詩歌ノ中ニ於テ何トイフ名稱ノ形態ニ屬スルカ。

ハ、日本ノ國歌ハ何音又ハ平假字何文字ヨリナルカ。

ニ、日本ノ國歌ヲ解釋セヨ。

甲種師範科(英語)

下の文を英譯せよ。

(1) 雨が降ると思つて朝出がけに傘を持つて行きましたが午後になつて晴れました。

(2) 私は去る十日岡山を立ち翌日着京致しました唯今伯父の所に滞在して居ます。

甲種師範科(英語)



- (1) The outside of the house is probably quite different from what it was when his father lived there, but inside it is unchanged and I could not help thinking what an uncomfortable house it must have been.
- (2) Don't be afraid of responsibility, or you will never do anything in the world worth doing. Above all, learn to say "No," one of the most difficult things in life. I see you have a good many friends in the school. Stick to them, for the friend you make at school often last through life.
- (3) I found the whole family assembled when I arrived; they were sitting in the great old kitchen, with its stone floor, the hostess in her usual chair by the fire, very upright, and I was amused to see that she had put on her best silk dress, while her son and his wife sat at the table with their children.

豫科 (英語)

下の文を英譯せよ。

- (1) 私には三人の姉妹があります。一人は結婚して商人の妻ぶあつて他の二人は親の許に居ります。
- (2) 上野公園は東京の北部にあつて、こゝに音楽學校や博物館があります。

Preparatory Course

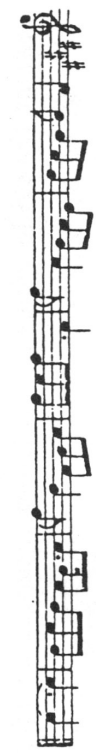
Translate the following into Japanese: —

- 1) A good many visitors go to London every year and learn to love it, but not many people — British or any other race — ever learn to know London thoroughly. That is because there probably is not any other city in the world which has so much variety.
- 2) I am twenty-two years old, my parents are dead, I have no brothers or sisters; the only near relation I have is Aunt Margaret, my father's sister. She is unmarried and lives alone in a little country house in the west of England. She is kind to me and I often spend my holidays with her, for I am poor and have few friends.
- 3) Over the doorway had been carved the date when it was built, 1673, and the house, gray and weather-beaten, looked as much a part of the landscape as the trees that sheltered it. The people who lived here were as dull, strong and modest as the house; their only boast was that ever since it was built, from father to son in one unbroken line they had been born and died in it.

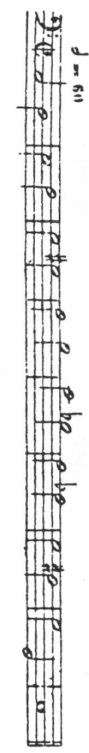
豫科、甲種師範科の音楽書取及新曲其他の問題は次の通り。

豫科作曲部 (第一回音楽理論)

1. 次の旋律を高音として和聲を附し混聲四部合唱體とせよ。



2. 次の旋律を低音として和聲を附し混聲四部合唱體とせよ。



(以上二時間)

豫科作曲部 (第二回)

1. 次の旋律断片を用ひて48小節位のピアノ用樂曲を書け。  
(注意) 拍子、速度は隨意。

移調も差支なし。

×印の音符は都合により長さを變更するも差支なし。



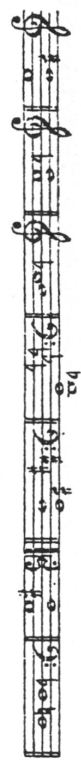
(以上二時間)

なほこの試験の後一人宛、以下の試問をなす。

1. 提出の自作品をピアノにて演奏せしむ。
2. 和音の聽音能力を試む。

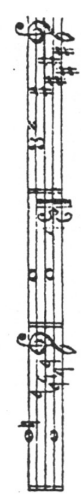
甲種師範科・豫科 (樂典)

1. 次の諸音程の名稱、並びに夫々の轉回音程の名稱を記せ。



(原音程)

(轉回音程)



(原音程)

(轉回音程)

2. 卜短調の旋律的音階を調子記號を用ひて記せ。



3. 次の樂譜を短二度高く移調せよ。



4. 次の樂語の意味を問ふ。

calando. cantabile. molto cresc. allegro ma non troppo.

1. 樂料 (Z)

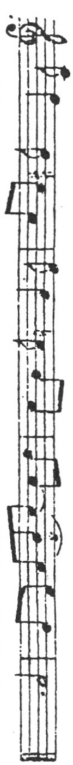
早瀬早取



2. 同上

唱歌

Wullner I. 79/C



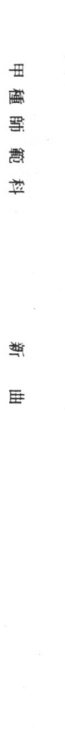
1. 豫科 (甲) 音楽占取



2. 同上 唱歌 音楽書取



2. 同上 唱歌 Wülher の56/B



同上 唱歌 小学唱歌集「めぐる車」



豫科聲學部 新曲



〔同聲會報〕第二五四号 昭和十五年三・四月 二八〜三二頁

昭和十六年度入學試験問題

豫科

一、唱歌

甲第一回 (聲樂志望者)

(イ) 音楽書取



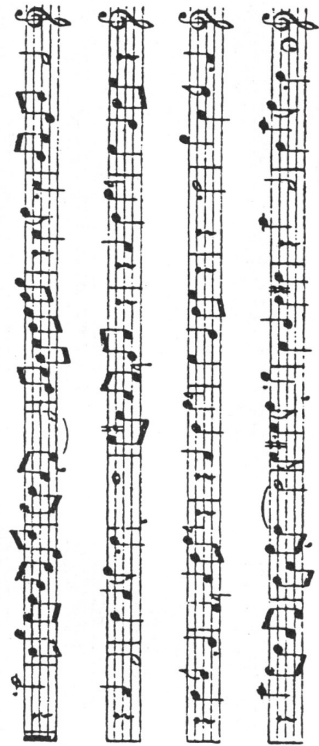
(ロ) コールユーブンゲン第八〇c Cis moll. 84P

(ハ) (課題) 文部省高小一年「冬来る」二年「野分」

甲第二回 (聲樂)

(イ) 簡易なる方法に依る音聲考査

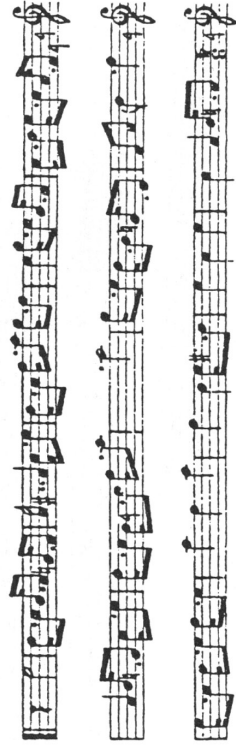
(ロ) 新曲



(ハ) 随意曲

乙 (器樂、作曲)

(イ) 音樂書取



(ロ) コルユーブン(ゲン)第五二ノb H dur 65P

二、器樂

甲第一回 (ピアノ志望者)

(イ) 指定曲 モーツアルトのソナタ ケツヘル番號第五七六

番 ニ長調第一樂章

(ロ) 選擇曲 (受験者自由選擇) ベートーヴン<sup>マ</sup>ソナタ作品

二ノ二、二ノ三、七、一〇ノ一、一〇ノ二、一〇ノ三、一

四ノ一、一四ノ二、二二、二八、三二ノ一、三二ノ三、中  
の一曲

同 (ヴァイオリン)

カイゼル作品二〇番ヴァイオリン教則本第一篇以上の程度の練習曲

同 (セロ) ドツツアー一三、エチユード第二卷位

同 (オルガン) 省略

同 (ダブルベース) 省略

甲第二回 (ピアノ)

(イ) ベートーヴンソナタ (第一回ロに同じ)

(ロ) ババのインヴェンション第十四番

三、作曲

第一回 音樂通論及和聲學大要

第一回 解答試験問題

(1) 次の轉調を夫々四聲體に作成せよ。

但し、屬七の和音以外はすべて協和音を使用すべし。

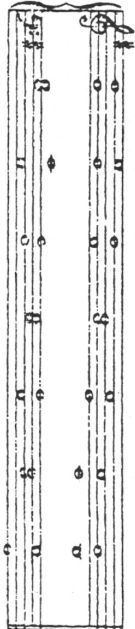
(イ) へ長調より變イ長調に至る。

(ロ) ニ短調より變ホ長調に至る。

(2) 次の和聲體を基礎として、各聲音を旋律的に修飾せる樂曲と

せよ。

但し、拍子、律動、速度、發想等を記載すること。



第二回(イ) 課題作曲

外に自作ピアノ曲提出

第二回 筆答試験問題

次の旋律断片を基礎として、約四十八小節のピアノ曲を作成せよ。但し、速度、發想等の諸記號を記載すること。



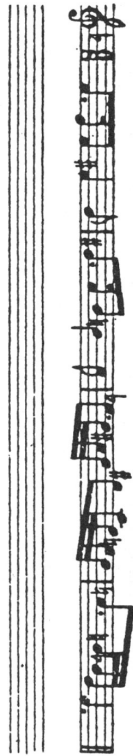
(ロ) 音程及簡單なる和音の聽音能力考査

(ハ) 自作曲の演奏

四、音樂通論

豫科 音樂通論入學試験問題

(二) 次の旋律を、調號を用ひて、完全五度低く移調せよ。



(二) 次の樂語を簡單に説明せよ。

(イ) 壹越

(ロ) 噪音(騒音)

(ハ) 大譜表

(ニ) più allegro

(ホ) grazioso

以上

(ハ) alla marcia

(ト) poco cresc.

(チ) con sordino

(三) 次の諸音程を問ふ。



以上

五、國語

昭和十六年三月十三日午前八時—十時

一、左ノ文ヲ解釋セヨ。

わか智を取り出でて人に争ふは、角あるものの角をかたぶけ、は牙あるものの牙をかみ出すたぐひなり。人としては善に誇らず、物と争はざるを徳とす。他にまさる事のあるは、大きな失なり。品の高さにても、才藝のすぐれたるにても、先祖の譽にても、人にまされりと思へる人は、たとひ言葉に出でてこそいはねども、内心にそこばくのとがあり。慎みてこれを忘るべし。

二、次ノ事項ニ答ヘヨ。且、漢字ノ訓ミ方ヲ片假名ヲ以テ記セ。

1. 松尾芭蕉

2. 肇國創業

3. 西行

4. 神皇正統記

5. 新井白石

三、次ノ問題ニ、簡單ニ理由ヲ述ベテ答ヘヨ。

1. 國語と日本語とは同じであるか、別であるか。

2. 文字と言語とは同じであるか、別であるか。

### 六、外國語

#### 豫科 英語 其一

和譯せよ

1. There is a kind of unearthly purity about a boy's alto voice, before it is broken, which is not matched by any other kind of voice; and when accompanied by the organ, the effect is almost miraculous.

2. Presently I found myself back at the hotel, not knowing exactly how I had returned. The pain was growing so violent that I had difficulty in breathing: before long I found it impossible to stand. Clearly, I must send for a doctor.

#### 其二

英譯せよ

1. 私には元氣な弟があります。今年八歳で、この四月から學校へ行きます。

2. 傘をささずに雨の中を歩いたのでぬれて歸った。

#### 豫科 佛語

和譯せよ

1. J'avais cinq ans, lorsque Dieu, songeant aux besoins futurs de ma vie et de mon âme, me donna un frère. La plus ancienne joie dont je me souviens fut de voir ce beau

frère endormi dans son berceau. Dès qu'il put marcher, je devins son protecteur, dès qu'il put parler, il me consola.

2. L'Indochine, située à vingt-cinq jours de navigation de Marseille est en majeure partie une contrée dont la civilisation est différente de la nôtre mais ancienne et variée. Le palais d'Angkor, aujourd'hui abandonné au milieu de la forêt, a été élevé il y a six ou sept siècles.

佛譯せよ

1. 今日は天氣がよいので午後外出する積りです。

2. 佛蘭西(語)は佛蘭西のみでなくカナダの一部でも話われている。

### 師範科

一、唱歌

第一回(イ) 簡易なる音樂書取



(ロ) コールユーブンゲン第七五ノ d 81 page

(ハ) 小學唱歌集第三集「花を見るときは」

第二回(イ) 新曲





(ロ) 文部省高小第二年「山」

二、器樂(第一回第二回共ソナタアルバム)(ペテルス版)第一編

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン中ノ一曲第一樂章

三、音樂通論 樂典大要

音樂通論入學試驗問題

(1) 次の音



を主音とする律の音階(律旋法)を示

せ

(2) ト音記號、ハ音記號(ソプラノ、アルト、テノル各記號)、

へ音記號を用ひて一點嬰へ音を示せ。



(3) 次の旋律を、調號を用ひて長二度低く移調せよ。



(4) 次の樂語の意味を記せ。

riten. ( ) andantino ( )

calando ( ) legato ( )

sempre p ( )

(5) 次の樂語を例をあげて簡單に説明せよ。

拍子記號

音程の轉回

異名同音

關係調

四、國語

(師範科・國語)  
(邦樂科)

昭和十六年三月十四日午前八時—十時

一、左ノ文ノ傍線ヲホドコセル部分ヲ解釋セヨ。

凡そ小兒ヲ教へ育つるに、始めて飯を食ひ、初めてもの言ひ、

さて人の面をみて悦び怒る色を知る程より、常に絶間なく教ふ

れば、やゝおとなしくなりて誠むる事なくやすし。故に小兒は

早く教ふべし。

二、左ノ文ヲ解釋セヨ。

御門ひとへに世をしろしめて、四方の海波靜に、吹く風も枝を

鳴らさず。世治り民安くして、あまねき御うつくしびの浪、秋

津島の外まで流れ、しげき御惠、筑波山の影よりも深し。よろ

づの道々に明らけくおはしませば國にざえある人多く、昔に恥

ぢぬ御代にぞありける。

三、左ノ文ノ片假字ノ部分ニ相當スル漢字ヲ書ケ。

1. 人々はヒカエシツで待つやうに言はれた。トリアツカヒはコントクを極めたので、誰も皆なヘイセイになり、やがてカへつてキンチャウがユルんで、異常なクワイクワツさを示しはじめた。

2. クワウグンのシンゲキはダンゼン敵をイフせしめ、アツタウテキシヨウリをエた。○○ブタイのゼンシヤウシは、カンゲキにみちて、ホブダウダウと○○にニフジヤウした。敵のクウグンキチも同時にシカタの手にヨつて、センリヤウされた。

五、英語 其一

和譯せよ

1. We spent an enjoyable week there, bathing, fishing and doing all the other things one usually does at the seaside, even building castles on the sands for the tide to wash away.

2. I think a gentleman is a man who neither says nor does anything which may hurt the feelings of another or make him feel small. Perhaps also a high sense of honour and unselfishness help to make a man a gentleman.

其一

英譯せよ

1. 私が生れた村は東京から百里許り隔つた海岸にあります。

2. 昨夜は讀書する積りでしたが二三頁讀むと眠くなつたので就寢しました。

〔同聲會報〕第二五四号 昭和十六年三月五月 一三〇一八頁

入學試験問題 (昭和十七年三月執行)

豫科

一、唱歌

甲第一回 (聲樂志望者)

イ、コールユーブンゲン卷一、第七五、Cノ二

ロ、古沼の藻の花又は長柄堤の訣別

甲第二回 (聲樂希望者)

イ、簡易なる方法に依る音聲考査

ロ、新曲

Moderato



乙 (器樂部及作曲部志望者)

コールユーブンゲン卷一第八一C

二、器樂 指定曲其他案内書の通りに付省略す。



三、作曲 作曲部志望者

第一回

(一) 次の轉調を四聲體にて示せ

へ長調 → 二短調 → ロ長調 → ト短調 → へ長調

但し二分の二拍子にて約十二小節の長さとするべし

(二) 次の旋律を高音とする混聲四部合唱體を作れ

Moderato



第二回

次の動機を基にして任意のピアノ曲を作れ (一時間半)

Moderato



四、音楽書取

(1)



(2)



五、音楽通論

(一) 次の音程をふくむ調子名を記せ



(二) 次の音程の名稱を記せ



(三) 次の旋律を短二度低く移調せよ



(四) 次の樂語の意味を記せ

moderato quasi allegretto. poco meno mosso.

grazioso. smorzando. scherzando.

(五) 次の事項を簡單に説明せよ

幹音 竝行調 屬音 臨時記號 日本俗樂

六、國語

(一) 次の文を解釋せよ

わが國人、ちかき世人のいへる事をば、よき事もよしと思はず  
て、いひ破らむとさへして、その心やがて學びの道にそむける  
としても思ひたらぬ人のみ多きは、いかにちふまが心ぞや。

(二) 次の文の傍線をほどこせる部分を解釋せよ

玉かつまの書の(二)すずるに書きつめおかれしが中より、(三)

道の妙なるおもぶきを近くとへてさとされしくたり、あるは  
三三 わなみ初學のとももの、まづ早くこころ得べきをぢをぢつと  
出でて、別巻となさましとて、かくはものしつるなり、心さと  
き人々(四) 枯野の草のこそ古から手折ずて、春の若葉のうら  
ぐはしきをつみねかしと、まづしるべしてつみ出でにたる、玉  
かつま道のしるべぞこれ。

(註 右は本居宣長の玉かつまの抜粹を玉かつまの道のしるべと名づけて、  
平田篤胤が刊行せるものの跋文の一節なり)

(三) 次の文に基いて、藝術についての所感を記せ

美ほど順應性に富む價值はない。人はかくて機械の形態にも新  
しい魅力を感じはじめた。藝術はその概念を新たに選ばねばな  
らぬ。発電所ははじめ、自然美の破壊者として呪はれた。高架  
鐵道は都市の美觀を汚すといふ理由で拒絶された。然し今では  
機械に現代の性格的な美的發現を認める所論も、常に耳にする  
常識の論となつた。

最初は、人の眼が機械の形態に馴れてゐなかつた。しばらくす  
ると人の眼は機械の形態に馴れて來た。最後に人の眼は、この  
新しい神の贈物に美しさを見出しはじめた。たとへて言へば、  
自動車は馬を除いたばかりの幌馬車の形で世の光を見たが、や  
がて自動車自らの機能に従つて、次第にその形態をととのへは  
じめた。極めて順應性に富む人間の美意識は、かくて美しい形  
態の内に常に新しい美の存在を感知する。それにつれて、最初  
から藝術として創造されるものまでが、機械的環境を、その形  
式なり内容なりに入れようとしは始めるのも事實である。

いづれはベートーヴェンのピアノ・ソナタ二十七番に因んで編  
まれた貧しき少女の物語も、ラヂオ設備の理想的に完備すべ  
き「將來」に於ては、同感に苦しむ程の昔話となることであら  
う。

七、外國語、英語、獨逸語、又は佛蘭西語(問題省略)

師範科

一、唱歌

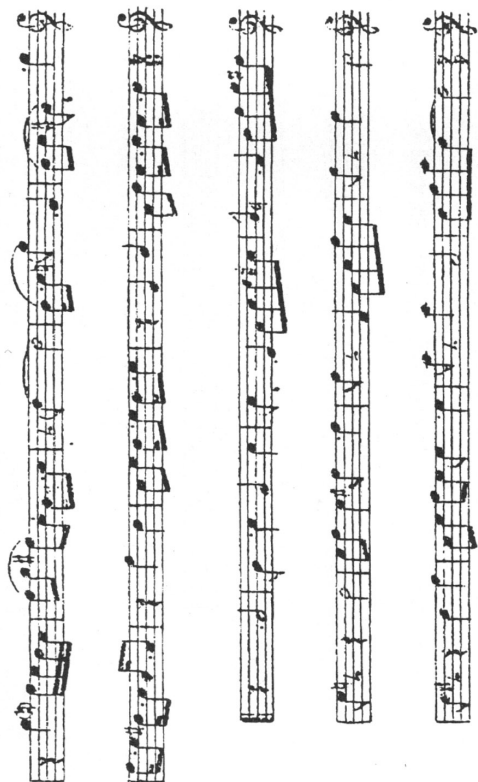
第一回

イ、コールユーブンゲン卷二第六八

ロ、小學唱歌集古戰場

第二回

イ、新曲





口、文部省新訂高等小學唱歌第一學年「太平洋」

二、器樂（案内書の通りに付省略す）

三、音樂書取

第一次（三年制）



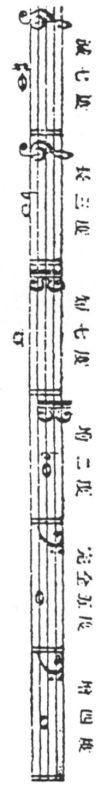
第二次（四年制）



四、音樂通論（第一次三年制）

(一) 次の諸音程に夫々相當する音符を、記載の音符の上部に記

入せよ



(二) 次の樂語及び記號の意味を簡單に説明せよ

(イ) Alla marcia (ロ) Allegro con brio

(ハ) tranquillo (ニ) 音名唱法 (ホ) 齊唱

(ヘ) 器樂 (ト)  $\Phi$  (チ) *sf*

(三) 愛國行進曲の旋律をアルト記號にて記せ

音樂通論（四年制）

(一) 次の旋律を調子記號を用ひて半音高い調子に移調せよ



(二) (イ) 下のカッコ内と記入せる音を夫々下に記せる音部記號

を用ひて譜表に記せ

(ロ) 各音の下部に増四度音程を作れ

(イ) テノル記號 (・ニ) アルト記號 (小字ハ) ヘ音記號

(二點嬰ヘ) ト音記號 (三點變ト) ヴァイオリン記號

(三) 次の樂語の意味を簡單に記せ

Con moto allegro ma non troppo dim. e rit.

主音 國際高度

五、國語

(一) 次の文の傍線をほどこせる部分を解釋せよ

凡そ(1)王土にはらまれて忠をいたし命をすつるは人臣の道なり(2)必ずこれを身の高名とおもふべきにあらずしかれども(3)後の人をばげまし其のあとをあはれみて賞せらるゝは君の御政なり(4)下としてきほひあらそひ申すべきにあらぬにやまして(5)させる功なくして過分の望をいたすこと自らあやぶむるはしなれども前車の轍をみることはまことに有りがたき習なりけんかし

(二) 次の傍線をほどこせる部分を解釋せよ

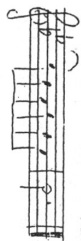
(1) 道を學ぶを主とすべき子細は今さらいふにも及ばぬことなれども(2)いさゝかいはゞまづ人として人の道はいかなるものぞといふことをしらで有るべきにあ(ら)ず學問の志なきものは論のかぎりにあらず(3)かりそめにもその志あらむ者は同じくは道のために力を用ふべきこと也(4)然るに道の事をばなほざりにさしおきてたゞ末の事にのみかゝづらひをらむは學問の本意にあらず

六、英語(省略)

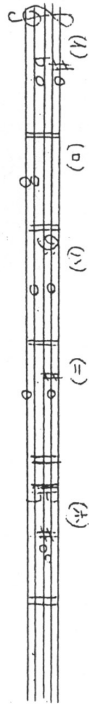
(『同聲會報』第二六三号 昭和十七年九月 二〇—二九頁)

昭和二十二年本科音樂通論試驗問題(22・4・4)

(1) 次の旋律を増四度上の調に移調しなさい



(2) 次の音程は何ですか



(3) 次の旋律は何調ですか



(4) 次の樂語の意味を問う

- (イ) Allegro ma non troppo
- (ロ) sempre *pp*
- (ハ) più mosso
- (ニ) calando
- (ホ) tranquillo

以上 (横書きの手書き)

(『文部省往復文書綴 教務課 昭和二十二年度』)

昭和二十二年四月五日

(本科) 學力検査問題(その一)

東京音樂學校入學試験

(1) 次の句を四つづつ組み合わせ、四首の短歌をつくとすれば、どの句とどの句とを組み合わせればよいか。(1、2、3、4といふ様に組合せの順序通り番號を列記すること。但し句を寫しとらないこと。)

- |              |                  |               |
|--------------|------------------|---------------|
| (1) 久方の光のどけき | (7) 母が生れし        | (13) 國美しき     |
| (2) なりにけるかも  | (8) 春の日に         | (14) 高槻の梢にありて |
| (3) 頬白の      | (9) 夕さりにけり       | (15) ひとつびとつ   |
| (4) 蜻蛉をとめて   | (10) しづ心なく       | (16) さへづる春と   |
| (5) 宵月夜      | (11) はてもなく菜の花つづく |               |
| (6) 唐黍の花の穂先に | (12) 花のちるらん      |               |

(2) 次の人々について、その社會的所屬を記せ。(學者、政治家、書家、自然科學者などの様に、各々の名の右側に記入すること。)

- |               |     |            |     |
|---------------|-----|------------|-----|
| (1) 松尾芭蕉      | ( ) | (9) 島崎藤村   | ( ) |
| (2) アレキサンダー大王 | ( ) | (10) シーザー  | ( ) |
| (3) 野口英世      | ( ) | (11) マルコーニ | ( ) |
| (4) ストラビンスキー  | ( ) | (12) ヴィンチ  | ( ) |
| (5) 藤原道長      | ( ) | (13) 夏目漱石  | ( ) |
| (6) ラファエル     | ( ) | (14) 柿本人麻呂 | ( ) |
| (7) プトレミー     | ( ) | (15) バツハ   | ( ) |
| (8) 李太白       | ( ) | (16) 源義經   | ( ) |

(3) 次の詩の第一、二、三行の空白の所へ一年の中の季節、一日の中の時をしめす語を入れるとすれば、どのやうな語を入れればよいか。(□の中に記せ。)

時は□  
日は□  
□は七時  
片岡に露みちて  
揚雲雀なのりいで  
蝸牛枝に這ひ  
神そらに知ろしめす  
すべて世は事もなし

〔文部省復文書綴 教務課 昭和二十二年度〕

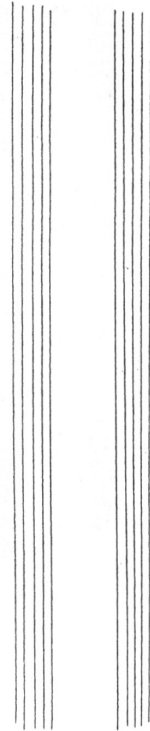
〔横書きの手書き〕

(1) 昭和二十二年度師範科音樂通論試験問題 (22・4・5)

(2) 次の諸音程をハ音記號によるアルト譜表を用い、小字ト音 (g, sol) の上に記しなさい

- (イ) 増四度 (ロ) 長七度 (ハ) 短三度  
(ニ) 増二度 (ホ) 減五度

(3) へ音を主音とする長短両調を一点へ音 (F, fa) の上に記し  
なさい



(4) 次の樂語の意味を問う

- (イ) poco a poco cresc.
- (ロ) Allegro agitato
- (ハ) molto adagio
- (ニ) dolce
- (ホ) marcato

以上 [横書きの手書き]

〔文部省往復文書綴 教務課 昭和二十二年度〕

(師範科) 學力検査問題 (その一)

(1) 次の句を三つづつと、五つとに組合せて、俳句を二句と、  
短歌を一首とを作るとすれば、どの句とどの句とを組合せればよ  
いか。(1, 2, 3といふ様に組合の順序通りに句の番號を列記  
すること。但し句を寫しとらないこと。)

- (1) 古池や (7) 松葉牡丹に
- (2) こがらしや (8) 目に見ゆる
- (3) 磯の家 (9) 水の音
- (4) 晝の雨降る (10) 海はひかりて

(5) 蛙とびこむ (11) きらきらと

(6) 畑の小石

短歌

俳句 (1)

(2)

(2) 次の文の□の所へ適當の語を入れよ。

〔原資料破損により解説不能のため、問題文省略〕

(3) 次の條件に當る人物を一人づつ記せ。(外國の人でも日本  
の人でもかまはない。答は問題の右側に記せ。)

- (1) 一國の元首であつて、音樂である人 ( )
- (2) 文學者であつて、政治家である人 ( )
- (3) 科學者であつて、藝術家である人 ( )
- (4) 歌人であつて、隱遁者である人 ( )
- (5) 哲學者であり、政治家であり、聖人と仰がれた人 ( )
- (6) 文人であつて、軍人でもあり、政治家でもあつた人 ( )

〔横書きの手書き〕〔文部省往復文書綴 教務課 昭和二十二年度〕

I. Answer in English:

- a. How old are you?
- b. Where do you live?
- c. There are four seasons in a year. Which season do  
you like best?

II. Which is right? :

has gone to  
He is going to Kyoto for visit one of his friends there  
went on

last Saturday.

III. Put into Japanese:

In the spring of 1787 Beethoven visited Vienna, and had a few lessons from Mozart. But after three months, as his mother became seriously ill, he returned to his native town, Bonn. He was a devoted son. Bonn is on the Rhine, and is a beautiful, old city. [英文タイプ]

(「文部省往復文書綴 教務課 昭和二十二年度」)

昭和二十三年度 東京音楽学校試験問題集

本科

(一) 唱歌

甲、第二回 (聲樂志願者に課する)

イ、ヴェルネル著コールユーブンゲン

第一篇 (F. Willner: Chorübungen, D) 中から

(試験の際指定する)

ロ、歌曲 (既習曲) 一曲 (四分以内に歌い終るもの。歌詞日本語、外國語何れを選ぶも自由)

甲第二回 (聲樂志望者に課する)

イ、簡易な新曲。

ロ、歌曲 (既習曲、甲第一回到歌つたもの以外の曲) 一曲 (四分

以内に歌い終るもの。歌詞は日本語、外國語何れを選ぶも自由)

註 伴奏樂譜を入學願書に添えて提出する事。提出後又は試験當日の提出は許さない提出樂譜は返還しない。

乙 (器樂。作曲志望者に課する)

ヴェルネル著コールユーブンゲン第一篇 (前掲) 中から (試験の際指定する)

(二) 器樂

甲、第一回

1、ピアノを志望する者に

イ、バッハ作平均率ピアノ曲集第一卷第二十三番 口長調

(Bach: Wohltemperierte Klavier Bd. I, Nr. 23. H-Dur)

ロ、ベートーヴェン作ソナタ (Beethoven: Sonata) 中から第

一樂章又は最終樂章を奏する事。繰返しのある曲は繰返さない事。(但しソナタ作品七十八を除く) 受験者自ら一曲を選んで

弾く事。

註 イ、ロと二曲を弾く事になる。

2、ヴァイオリンを志望する者に

ヴァイオリン練習曲一曲カイザー (Kaiser) 教科書第三卷以上の程度。

3、チェロを志望する者に

チェロ曲一曲 (既習曲)

4、コントラバスを志望する者に

半ポジション及第一ポジションを含む程度の練習曲。

5、オルガンを志望する者に

シュナイダー、ユリウスSchneider, Julius 作品第六十七番オルガン練習曲第一篇 (Schneider, op. 67 Studien, Band I) 又はラインハルト作品第七十四番オルガン練習曲卷一 (Rheinhard op. 74. Studien, Band I) 中より練習曲一曲及び以上の曲以外の曲以外の自由選擇曲一曲 (練習曲でないもの)

註 練習曲一曲と樂曲一曲を弾く事。

6、管樂器打樂器を志望する者に

既習曲一曲 (程度を示さない、練習曲でもよい。)

甲、第二回

1、ピアノを志望する者に

イ、バッハの曲 (前記甲第一回 (1) のイ、の曲) を演奏する事  
ロ、次の曲から一曲選んで弾く事。

1、ベートーヴェン作三十二の變奏曲ハ短調 Beethoven: 32

Variation c-moll

2、ベートーヴェン作ソナタ作品七十八 (全樂章) Beeth-

oven: Sonata op. 78

3、メンデルスゾーン作十七の嚴格なる變奏曲作品五十四

Mendelssohn: 17 Variation op. 54

4、ショパン作スケルツォ作品二〇

Chopin: Scherzo op. 20

5、ショパン作即興曲作品三十六

Chopin: Impromptu op. 36

6、シューマン作トツカータ作品七

Schumann: Toccata op. 7

7、シューマン作ウィーンの謝肉祭の道化作品二十六 (第一樂章)

Schumann: Faschingschwank aus Wien op. 26

(I Satz)

8、ブラームス作スケルツォ作品四 (トリオとの間は繰返すこと)

9、Brahms: Scherzo op. 4

9、リスト作ポロネーズ第二番 (ホ長調)

Liszt: Polonaise nr. 2. (E-Dur)

10、リスト作パガニーニ練習曲第六番

Liszt: Paganini Etüde Nr. 6

註 ピアノを志望する者は (第一回と第二回とも暗譜演奏のこと)

2、ヴァイオリンを志望する者に

ヴァイオリン樂曲一曲 (受験生が選んだもの。第一回試験の練習曲以外のもの)

3、チェロを志望する者に

第一回の程度で精査する。(第一回の樂曲以外のもの)

4、オルガンを志望する者に

イ、第一回の曲及び簡單な新曲

ロ、ピアノで練習曲を一曲 (自由選擇) を弾く。

乙、ピアノを志望する者以外の者へ課すピアノ曲 (邦樂、絃樂器の志望者を除く)

1、聲樂を志望する者に



モーツァルト (Mozart) のソナタ中から第一樂章又最後樂章

2、作曲を志望する者に

イ、バッハ作インベンション (J. S. Bach: Invention) の二聲  
及び三聲中から一曲 (自由選擇)

ロ、樂曲 (自由選擇) 一曲

註 二曲弾くことになる。

3、管樂器、打樂器を志望する者に

ツエルニー作練習曲三十番より一曲 (自由選擇) Czerny:

Etudes de mechanisme op. 849

(三) 作曲 作曲を志望する者に

第一回和聲法 (筆答)

1、低音部課題

2、旋律課題

第二回

1、與えられた主題による簡易な作曲を課す。

2、和音の聽音

3、試 問

(四) 聽 音

イ、簡易な旋律の書取

ロ、一點ハ音を與えて左記の和音を書取らせる



音樂通論 (作曲、邦樂を志望する者を除く)

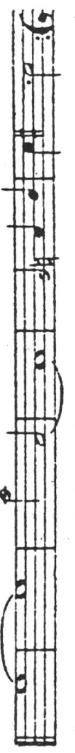
樂典大要 (和聲、樂式、その他作曲學の内容を含まない)

作曲科問題

(一) 次の旋律を高音とする和聲を四聲體に作出せよ。



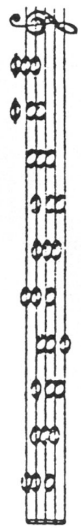
(二) 次の旋律を低音とする和聲を四聲體に作出せよ。



次の動機を基とする任意の樂曲を作れ。

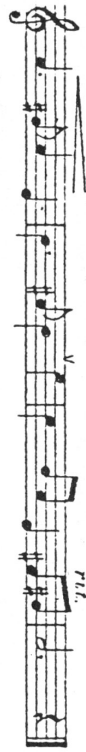


本科聽音問題





一回全體を奏き次に四小節ずつ三回奏く、各回共秒間をおく。三回目には次の四小節に移る。終つて全體を一回奏き三十秒の後提出(右同新曲)



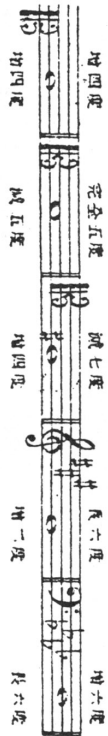
音楽通論問題

(一) 次の樂語の譯語を記しなさい。

Grazioso, Tranquillo, Allegro con brio.

Andante sostenuto quasi adagio.

(二) 次の各音に對して上下にそれぞれ指定の音程を記入しなさい。



(三) 次のメロディーを減四度下及び増一度上の調に移調しなさい。



(四) 下記の音の異名同音(エンハアモニックの音)を一つずつ各問題の右に記しなさい。



師範科

(一) 唱歌

第一回

イ、ヴェルネル著コールユープンゲン第一篇 (F. Willner: Chorübungen, I) の中から試験の際指定する。

ロ、簡易な新曲

第二回

イ、簡易な新曲

ロ、歌曲(既習曲)一曲三分以内に歌い終るもの。(歌詞は日本語、外國語何れを選ぶも自由)

註 伴奏樂譜を入學願書に添えて提出する事、提出後又は試験當

日の提出は許さない。

提出樂譜は返還しない。

(二) ピアノ

第一回

イ、ツェルニー作練習曲四十番中の第二十五番 (Czerny:

Schule der Geläufigkeit op. 299 No. 25.)

ロ、ハインツン(Haydn) モーツァルト(Mozart) 又はグーター

ヴェン (Beethoven) のソナタ中より一曲。但し第一(楽)章  
又は最終樂章を弾くこと。(繰返しなし)

註 以上二曲を弾くことになる。

第二回

イ、バッハ作インベンション三聲中の第八番へ長調 (J. S.

Bach: Invention Nr. 8 F-Dur)

ロ、第一回に弾いた樂曲(但しツェルニーを除く第一回ロの曲)

を再び弾くこと。

註 以上二曲となる。

三、聽 音

四、音樂通論 } 本科と同じ、参照のこと。

國語 (師範科)

(問題一) 次の文中の空白の所に、以下の十の語を適當に書き入れ  
なさい。

(人間) (否定) (感情) (道理) (本然) (眞空) (美しい)

(反省) (社會) (知性)

理屈だけでは通らぬと云う時、我々は ( ) によつて ( )

抗議しているのである。その時には ( ) も道理自身を更に

( ) しなければならぬ。というのは道理の在り場所は

( ) ではなく ( ) の中にあるのであつて

それが人間の中にある限り、人間 ( ) の感情を無視しえな

いからである。同時にしかし、我々は ( ) 感情をも道理によ

つて時には ( ) しなければならぬ。美しい感情と思はれる

ものが ( ) 生活における害悪となることがあるからである。

(問題二) 次の文を解釋なさい。

かつあらはるるをも顧みず、口に任せていひちらすは、やがて浮  
きたることと聞ゆ。又我もまことしからずは思ひながら、人のい  
ひしままに、鼻のほどをこめきていふは、その人のそらごとには  
あらず。げにげにしく、所々うちおほめき、よく知らぬよしして  
さりながらつまづま合せて語るそらごとは、恐ろしきことなり。  
我がため面目あるやうにいはいはれぬるそらごとは人いたくあらがは  
ず。

英語 (師範科)

1. How many months are there in a year?

And what are the spring months?

2. That is the house 

which
that
who

 he lives in. He is a good

student. He gets up 

at
in
on

 six every morning and goes

to
on
for

 school 

by
on
in

 foot.

3. 誤あらば正せ。

(a) He shall go to the concert, if it are fine.

(b) He ran go fast that I can not catch him.

4. 下線の部分の意味をのきな。

Of late, I have been wishing for music. An odd chance  
satisfied my desire. I had to go to Exeter yesterday. I

got there about sunset, did my business, and turned to walk home again through the warm twilight. As I was passing a house of which the ground-floor windows stood open, there sounded the notes of a piano played by skilful hand. I stopped, and in a minute or two the musician began to play that nocturne of Chopin which I love best. I don't know how to name it, my heart leapt.

音樂通論 (師範科)

(一) ゆるやかな速度と速い速度とをあらわす樂語 (イタリー語) を各三つずつ記しなさい。

(二) 次の音程のうち不協和音程に○印をつけなさい。



(三) 次のメロディーを (A) 短調 (B) 長三度高い調に移調しなさい。



(四) 次の諸調の調號を低音部譜表に記しなさい。へ短調、嬰へ長調、ニ短調、變ニ長調

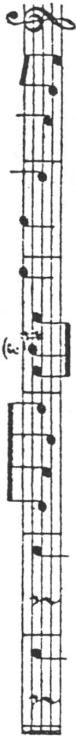
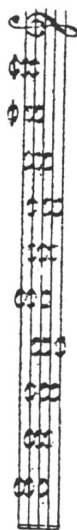
師範科新曲第一回目



師範科新曲第二回目



聽音 (師範科)



全體を一回奏き、次に四小節ずつを三回奏く、各回とも一〇秒間をおく。三回目には次の四小節に移る終つてから全體を一回奏き三〇秒の後提出。

國語 (本科)

(問題一) 次の五つの文の頭に、以下の五つの語を適當に割當てて

書き入れ、夫々の全文を解釋なさい。

(心もとなき) (近くて遠き) (はしたなき)

(くちをしき) (胸つなむ)

( ) もの、こと人をよぶに我かごとく出でたるもの。其て物取らす折は。

( ) もの、親などの心地悪しうして、例ならぬ景色なる。

( ) もの、人の許に、頼の物縫ひにやりて待つほど。

( ) もの、思はぬ兄弟親類の中。

( ) もの、遊をもし、見すべき事もあるに、必ずきなんと思ひて呼びにやりつる人の、「ちはる事有りて」などいひつゝぬ。

(問題二) 次の文の論旨を簡単に解りやすく説明なさい。

伝統の根をもたぬものは遊離した存在である。しかし伝統を越えぬものは眞に新しい存在とはならない。新しい存在によつて傳統が受けつがれない時傳統は腐朽する。新しい存在が新しい傳統を作る。傳統を眞に傳統たらしめるものは、傳統を越えた新しい存在である。

英語(本科)

1、 Whom do you like among the musicians.

2、 Fill the blanks.

(a) Is he an American-an Englishman ?

(b) He will start-Kyoto-three-the afternoon

3、 次の文を三人稱單數にて書け。

If I have nothing to do, I shall go to the concert.

4、 次の文を過去に書き改めよ。

She things that her son will surely succeed.

5、 意味をのべて。

Franz Peter Schubert was the son of a school teacher in one of the suburbs of Vienna. His musical talent received its earliest training from his father, who taught him to play the violin. As a boy he became a member of the choir of the court chapel and a student at the choir school when his voice changed, he became a teacher of an elementary school after three years he thought he must devote himself entirely to music. He gave up teaching and attempted to earn his living as a musician. Schubert died in 1828, one year after Beethoven.

佛語(本科)

1、 次の動詞の變化を記せ。

Aimer

直説法 (mode indicatif)

(1) 單純過去 (passé simple)° 定過去 (passé défini)

(2) 大過去 (plus-que-parfait)

(3) 前過去 (passé antérieur) …… (先立過去)

(4) 單純未來 (futur simple)

(5) 先立未來 (futur antérieur) …… (前未來)

命令法

以上の中四つを選び記せ。

2、この他に讀本の音讀並びに解釋を個人で行う。

(Methode Express を使用)

獨語(本科)

1、和譯せよ。

Wer im Weltkrieg gewesen ist und Hunderte von Menschen hat neben sich fallen sehen, wie mir der hat Welt und Leben von einer ganz anderen Seite kennen gelernt.

2、獨譯せよ。

一七八九年に若い Beethoven は彼の故郷の町 Bonn から、Wien へ旅行した。彼は世にも名高い Mozart に師事しようと思つたのである。

3、誤を正せ。

Mozart dachte: der junge mann spielen da etwas, was er zu Hause fleissig eingueben hast. Beethoven bemerkte das kuehle Lob und verdriesslich wurde.

〔音楽之友〕第六卷第六号 昭和二十三年六月 二五〜三三頁

## (二) 関連資料

東京音楽學校受験者への注意

編輯部

聽音の試験

聽音の試験とは耳の試験である。如何に耳が良いか、悪いか、の試験である。どう云ふ様に此の試験がされるか、先ず上野を例にと

ると五線紙が各自にわたされ、試験官が壇上でピアノかオルガンで或る旋律を奏する。それを書きとるのである。然しこれは一度だけしか試験曲を奏すると云ふのでは無く、先ず始めに全曲を奏し、それから五六小節宛區切つて二三回宛丁寧に奏されるものであるが、受験者は大抵夢中になつてゐるので随分あつけないように思はれる。要するに受験勉強時代の準備が必要である。

今までは皆試験曲は單音であつたが、今後音楽思想が進むに従つて二重音を書き取らせるようになるかもしれない。益々準備時代が大切になつて来る。

### 新曲の試験

試験でいやなもの(の)一つに新曲の試験がある。此れは新しい曲、まだ一度も見なかった曲を試験場で見て直ぐ歌ふ試験である。此れは讀譜力の試験である。

此の試験で試験官が一番注意するのは、聲の美しさもあるが、拍子はどうか、と云ふ所にある。聲の美しいと云ふ事は聲樂科に志す人にとつては最も必要なことであるが、他の科ではそんなに重きを置いてゐない。それよりも音程を正しく拍子を間違はないように日頃から讀譜力を養成して置く可きである。

ともすると、準備時代に變な歌ひ方の癖がついて、試験場で大家振つた歌ひ方をする人がゐるが、此れなどは直ぐハネられて仕舞ふ。此の様な外面的なうまさよりも、内面的な、その人の素質の問題が一番大切なのである。だから成る可く、日頃から變な癖をつけずに正しい、素直な歌ひ方を練習しなければいけない。